

2026 年 10 月 19 日

各 位

株式会社八十二長野銀行

不正アクセスによるお客さま情報漏えいのお詫びとご報告（第 2 報）

2026 年 10 月 8 日にお知らせいたしました、弊社職員のメールアカウントに対する不正アクセス事案（2026 年 10 月 7 日発生）につきまして、その後の調査により、情報漏えいの可能性がある範囲を特定いたしましたので、以下のとおりご報告申し上げます。なお、新たな情報漏えいの発生や、口座情報・暗証番号等の漏えいは確認されておられません。

お客さまをはじめ関係者の皆さまに、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、改めて心より深くお詫び申し上げます。

1. 事案の概要

2026 年 10 月 7 日（水）、弊社職員（1 名）が、過去に業務上の接点があった海外企業を騙る先から送信されたフィッシングメール（正規の認証機能を悪用する手口）を受信し、認証操作を行ったことにより、当該職員のメールアカウントが第三者から不正アクセスを受けました。

同日中に当該アカウントへの不正アクセスを遮断いたしました。その後の調査の結果、当該職員のメールアカウント内の一部の電子メール情報等が第三者に漏えいした可能性があることが判明いたしました。なお、当該職員のアカウント以外への不正アクセスは確認されておられません。

2. 第三者に漏えいした可能性のある情報

当該職員のメールアカウントについて、アクセスログ等を解析し、第三者に閲覧されたメールを確認した結果、情報漏えいの可能性がある範囲を以下のとおり特定いたしました。

（1）個人情報

34 名

- ・ 以下（2）および（3）に所属される方の氏名、勤務先名、電話番号、メールアドレス（対象となる方への個別連絡は完了しております）

（2）法人取引先

627 社

- ・ 社名および海外拠点名：531 社（対象となるお客さまへの個別連絡を進めております）
- ・ 弊社との取引に関する情報：96 社（対象となるお客さまへの個別連絡は完了しております）

（3）その他関係機関

11 機関

- ・ 機関名等およびメールアドレス数：35 ※

※ 2026 年 10 月 8 日付「流出した可能性のあるメールアドレス 35 名」を指します
（対象となる関係機関への個別連絡は完了しております）

3. 現時点で確認されている状況

本件発生後、現時点までに、不正利用による被害のお申し出はございません。引き続き、監視を継続してまいります。

4. 再発防止策

弊行では本件を厳粛に受け止め、これまで継続的に取り組んできたセキュリティ対策に加え、本件を踏まえた新たな対策を講じております。今後も、多様化・巧妙化するサイバー攻撃に備え、システム面での対策強化と役職員への教育・指導を継続し、セキュリティのさらなる強化に取り組んでまいります。

本件につきまして、ご不安な点やご不明な点がございましたら、誠にお手数をおかけいたしますが、下記お問い合わせ窓口までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

<お問い合わせ先>

お客さま相談室

電話番号 0120 - 82 - 8682（フリーダイヤル）

音声ガイダンス「5」→「9」

受付時間 9：00～17：00（土・日・祝日除く）

以 上